

歴史は繰り返す

大森 海太

その昔、天下を統一した秦の始皇帝が没すると、たちまち各地に叛乱がおこって国は滅び、次の漢の武帝は匈奴の圧迫をハネ返したが、後の皇帝位は外戚に篡奪され、後漢も黄巾の乱や内乱で倒れて三国時代となる。

五胡十六国を経て鮮卑拓跋系の北魏から随、唐の時代となったが、安史の乱のあと中央集権が崩れて各地の節度使が実権を握り、黄巢の乱もあつて唐は滅亡。

五代十国に続く北宋は東北の女真族（金）に倒され、亡命政権（南宋）と金はモンゴルに滅ぼされ、フビライが建てた元は紅巾の乱のあと朱元璋の明によって北に追われた。

その明は女真族の後金（清）に代わり、清は滅満興漢の太平天国と列強の干渉で衰え、辛亥革命で崩壊して混乱の末、現共産党政権が誕生した。

こう見てくると、中国の歴代王朝の最期は、周辺民族も含めた内部の叛乱に起因するものがほとんどだ。

歴史は繰り返す。最近の習王朝はこれに怯えて、批判を許さぬ極端な言論統制やスパイ活動取締りに走っているかのようだ。

さらに昔、モーセに率いられたヘブライ人はエジプトからパレスチナに入植したがバビロンの捕囚に遭い、その後エルサレムに戻りユダヤ教による選民思想を形成し、ローマ帝国の属州となったあと二次にわたるユダヤ戦争の末、追放されて世界各地に離散した（ディアスポラ）。

ユダヤ人は商売や金融業の才にたけているものの、夫々の土地の人たちからは反感を買い、しばしば迫害、追放の憂き目に遭ってきた。

十六世紀スペインによる異端審問や近年ロシアでのポグロム、ナチスのホロコースト等々の一方、シオニズム運動によりユダヤ人国家建設の悲願を達成した。

でも歴史は繰り返す。最近のガザ紛争で世界の非難に耳を貸さぬイスラエルの過酷な攻撃は、過去の度重なる迫害の再来に対する恐怖の裏返しかも。

しかし中国の現政権や国家イスラエルは、始まってまだ四分の三世紀が過ぎたばかり。これから長い時の流れの中で、どのように歴史は繰り返すのだろうか。